

チャレンジ

旭川大学高等学校 ライセンスコースだより NO2(235) 2020.5.18

教室から消えた生徒

「多くの生徒らの学習が滞っている。学校再開の決定は簡単ではないが対応を急ぐべきだ」。国連教育科学文化機関(ユネスコ)のアズレ事務局長が4月末、声明で訴えた。新型コロナウイルス対策の全国的な休校は177カ国・地域で続き、全世界の72%、約13億人が登校できていない。

学力格差への懸念が各国で強まる。

4月22日時点で小中の95%、高校の97%が休校していた日本。自宅学習は紙の教材が中心で、公立小中高など約25000校の95%は同時双方向のオンライン指導ができていない。

オンライン授業

28日(火)から、「物理」「生物」「化学」「基礎(井上先生)」「コミュニケーション英語I(平井先生)」「国語総合(稗田先生)」のオンライン授業を始めました。生徒達はもち

ろんのこと先生方も工夫や研究を重ね、スムーズにそしてわかりやすい授業を展開されていました。

分散登校18日スタート

クラスを出席番号で分ける。

18・20・22(奇数の生徒) 26・28日

19・21・23(偶数の生徒) 27・29日

28日、29日のみ5時間、それ以外は4時間授業です。授業は、2日間連続同じ時間割です。

金魚鉢の法則

1年2組担任 平井麻貴

旭大高に来て12年目の春を迎えました。12年間の中で、ライセンスコースの担任を7年させて頂いております。ライセンスコースの皆さんは、勉強、学校行事、部活動、検定の勉強などなど、何事にも一生懸命取り組んでいる生徒が多い印象があります。特に、検定に向けての勉強や定期試験の前

などでは、学校に残って勉強し、互いに教え合いながら切磋琢磨する姿が多く見られます。そんな皆さんに負けないように、先生も頑張ろう!と思う今日この頃です。

さて、話は変わりますが、皆さんは「金魚鉢の法則」をご存知ですか。先生も最近知ったのですが、金魚は金魚鉢の大きさに合わせて体型が変わるそうです。「小さな金魚鉢では、小さな金魚のまま、大きな金魚鉢では、大きな金魚へと成長する」。これは私たち人間にも当てはまるのではないのでしょうか。「目標」という器が大きいほど、人は大きく成長できるのではないのでしょうか。

皆さんには、この1年間、小さな金魚鉢の中に入ったままの自分にせず、大海原へと泳ぎだすか如く成長していったほしいと願っています。

「(行動の)自由」

1年3組担任 一条智貴

これまでは他コースの担任をしていて、ライセンスコースの担任をするのは初めてです。そのため入学式では生徒の皆さんと同じく緊張したり、今後の心配をしたりしていました。しかし、しばらく

皆さんの様子を見てみると、しっかり時間を守る、人の話を真面目に聴く、周りの人に配慮しようとする、といった行動を多数見ることができ、叱るところが衰えるばかりで大変感じました。これから始まる高校生活を通して、私だけではなく様々な人達にも沢山褒められる学級として成長して欲しいと切に願います。

ところで、コース名にもある「ライセンス」とはどのような意味か調べてみたところ、「免許状」だけではなく「(行動の)自由」の意味もあるようです。様々な資格を取得することで自分の能力を証明し、他者の信用を得ることで行動の選択肢を増やし、自分の好きなように(自由に)生活できるようにする、という意味がライセンスコースには含まれていると私は考えます。卒業後、より一層自由な生活を得られるように、高校生活を充実させましょう。

